

深谷市社会教育委員会議からの提言

深谷市における地域学校協働活動の充実に向けて  
～地域と学校が協働し、地域総がかりで  
子どもたちを健やかに育てるために～

令和6年6月

深谷市社会教育委員会議

## 1 はじめに

近年、我が国では少子高齢化の加速や、Society5.0に示されている情報技術の進歩など、社会が大きく変化し、地域における教育力の低下、家庭の孤立化など、学校や子どもを取り巻く環境が複雑化、困難化している。

このような問題に対しては学校のみならず、住民や保護者等を含めた地域総がかりで対応することが求められており、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進することが重要である。

深谷市においても、地域や家庭の教育力の低下が指摘され、その教育力の向上が大きな課題となっている。

こうした背景の中、今期の深谷市社会教育委員会議では、「深谷市における地域学校協働活動の充実に向けて」をテーマに定め、調査研究を行い、そのまとめを深谷市教育委員会に提言することとした。

なお、調査研究にあたっては、上記テーマのもと、19名の委員を「学校グループ」と「地域グループ」に分け、それぞれの視点から地域と学校の協働について熟議し、社会教育委員会議としてまとめたものである。

## 2 深谷市における地域と学校の協働に関する目標

### (1) 第2次深谷市総合計画 後期基本計画

(2023年3月発行 計画期間：2023年～2027年)

#### 施策：家庭・地域・学校の連携と協働による教育力の向上

##### ■ 5年後の目指す姿

家庭・地域・学校の連携体制を強化することにより、地域総がかりで子どもたちの育成に取り組む中で子どもたちが健やかに成長しています。

成果指標	全国学力・学習調査において、市内全小6児童及び中3生徒のうち、地域行事や活動に参加している子どもの割合	R3実績 64.1%	R9目標 73.0%
	学校応援団の年間延べ活動回数 (※)	R3実績 178回	R9目標 300回

※深谷市立小中学校全29校の合計。R9目標の達成にあたっては、1校当たり年間約11回の活動が必要。

## (2) 第3期深谷市教育振興基本計画

(2023年3月発行 計画期間：2023年～2027年)

### 深谷市の教育の基本理念

立志と忠恕の深谷教育 ～ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる～

#### 施策：学校の組織運営の改善と地域の核となる学校づくり

- 管理職を中心に教員の指導・支援体制の充実を図るとともに、教員と多様な人材が連携・協働し、学校の組織力向上を図ります。
- 学校が核となり、学校・家庭・地域が協働して学校運営に取り組む組織体制を築き、充実させます。
- 学校評価を子どもたちの教育に生かせるよう、評価結果の反映を充実させます。

成果指標	学校運営協議会の平均開催回数	R3実績	R9目標
		3.2回	4.0回

#### 施策：家庭・地域・学校が協働する教育体制の整備

- 地域住民の地域学校協働活動などへの積極的な参加を促進し、子どもたちの居場所づくりや学習支援などを行う体制を強化します。
- ボランティア意識の高揚を図り、社会参加活動や青少年健全育成の取組を促進します。

成果指標	全国学力・学習調査において、市内全小6児童及び中3生徒のうち、地域行事や活動に参加している子どもの割合	R3実績	R9目標
		64.1%	73.0%

## (3) 深谷市学校教育グランドデザイン

### 深谷市のめざす子ども像

夢とところざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子

### 3 現状

#### (1) 地域学校協働活動の現状

深谷市では前述の計画に基づき、地域学校協働活動に関して様々な事業を展開している。市内全小中学校に学校運営協議会を設置しコミュニティスクールを推進しているほか、学校と地域をつなぐコーディネーターとして地域学校協働活動推進員を委嘱し、地域と学校の連携を深める取組を実施している。また、各学校で組織されている学校応援団や、PTA、自治会、公民館など、各団体や個人が以下のような地域学校協働活動を実践している。

#### ア 学校での学習体験活動

本の読み聞かせ、野菜や米作り、昔の遊び、餅つき大会、キャリア教育など、地域と学校に応じた特色ある取組を行っている。また、子どもたちの放課後の居場所作りとして、放課後子ども教室や、スポーツ少年団の活動も実施されている。

#### イ 安全安心に関する活動

市内各地で、保護者や青少年健全育成会、民生委員・児童委員、自治会等の協力のもと、登下校時の見守り活動が実施されている。ある地域では個人や団体が積極的に協力し、役職や役員等に関係なく、地域住民が活動に協力しており、地域総がかりで子どもを見守る体制ができている。

また、学校と地域が協働で避難訓練を実施している事例もある。

#### ウ あいさつ運動に関する活動

地域学校協働活動の一環として、地域の小中学校において、あいさつ運動の取組を行っている。多くの学校で、保護者だけではなく、自治会や青少年健全育成会等を巻き込み地域全体であいさつ運動を推進している。

#### エ 環境美化活動

学校からの要請に基づき、学校応援団が中心となって、敷地内の除草や花壇整備等の活動を行っているほか、児童生徒が公園や道路の美化活動に参加している事例もある。また、学校とPTAが連携して資源回収を実施している。

#### オ 公民館と学校の関わり

公民館と学校が関わる取組として次のような事例がある。

- ・「公民館と中学校」や「公民館と小学校」のような公民館と学校での合同体育祭
- ・公民館まつりにおける小中学生の美術作品等の展示や合唱・吹奏楽の発表
- ・公民館利用団体を講師とした絵画教室等の学習講座
- ・公民館での小中学校だよりの掲示

## カ 学校運営協議会の現状

全ての小中学校において、地域学校協働活動推進員が学校運営協議会の委員として委嘱されている。

### (2) 地域学校協働活動の成果

地域学校協働活動に関わる方から、次のような声が確認できた。

#### ア 地域

- ・地域の方々が学校支援活動に参加し、生きがいや元気をもらっている。
- ・子どもを地域の良き継承者として育てたい意識が芽生えた。
- ・活動に参加することで地域住民同士の相互理解が深まった。

#### イ 学校

- ・子どもたちに地域の方への感謝と郷土を大切に思う気持ちが生まれた。
- ・体験学習を通じて学習効果が高まった。
- ・交通指導については教職員の負担軽減も期待できる。
- ・学校と地域が協働で避難訓練を実施したことで、学校と地域のつながりが強化され、地域の防災対応能力の強化と防災体制の充実、応急救命等の機運が高まった。

出典：学校応援団実践報告書

## 4 課題

地域学校協働活動によって一定の成果が上がっている一方で、次のような課題もある。

### (1) 地域学校協働活動推進員について

- ア 地域学校協働活動推進員の役割等について、地域や住民への周知が不足しているため、推進員がコーディネート機能を発揮しづらい側面がある。
- イ 地域学校協働活動推進員が学校へ働きかける際、学校との連携を図る環境整備が求められる。

### (2) 地域学校協働活動に関わる仕組みや組織について

- ア 地域には、学校へ協力したい人材がいるものの、地域学校協働活動に関わる仕組みや組織が整備されていないため、学校と地域の連携が円滑に進まない側面がある。
- イ 学校と地域の連携について協議する場が不足している。

### (3) 学校運営協議会について

- ア 協議会での主要な話題が、学校の報告になることが多く、地域の方と情報共有や協議をする時間を増やすことが求められる。

- イ コロナ禍により、対面での学校運営協議会が開催できない期間があったため、培ってきた地域と学校の連携が滞ってしまった。

## 5 提言

### 提言 1 地域学校協働活動推進員の効果的な活用【課題（1）】

- ア 各学校に配置している地域学校協働活動推進員とその役割の周知を図る。具体的には、公民館だよりや学校だより等で地域住民に知らせるほか、自治会や、青少年健全育成会、公民館運営審議会等の会議において地域学校協働活動について説明を行う。
- イ 地域学校協働活動推進員が活動しやすい環境を整備する。地域学校協働活動推進員を学校運営協議会委員に位置付けし、学校と地域が相互に良きパートナーとして、連携・協力し、学校教育の充実と地域の活性化を図る組織とする。また、学校に地域学校協働活動推進員の窓口となる職員が配置できるよう調整を行う。

### 提言 2 地域学校協働活動に関わる仕組みや組織の構築【課題（2）】

- ア 地域学校協働活動に関わる地域住民を組織化するとともに、活動に協力できる人材を増やす取組を行う。例えば、学校応援団に学習部や環境整備部といった部門を設けて組織化することや、新たに地域学校協働活動に関わる団体を設立することが考えられる。
- イ 地域と学校が共通理解するための場を設ける。具体的には、学校運営協議会や公民館運営審議会、青少年健全育成会などを活用して、「学校と地域の協働」について協議を重ねる。（地域が学校に求めること、学校が地域に求めることについて話し合いをする）また、自治会長と学校との連携強化を図る。

### 提言 3 学校運営協議会の活性化【課題（3）】

- ア 引き続き、地域学校協働活動推進員を学校運営協議会委員として委嘱する。また、学校運営協議会において、学校と地域の連携に関する事項を協議する時間を設け、学校運営協議会を学校と地域が連携する場としてこれまで以上に活用する。
- イ 学校から地域への発信の工夫をする。学校だよりやホームページ等を活用し、学校運営協議会の協議内容を地域住民へ伝える。

## 6 おわりに

本提言は、社会教育委員各自がそれぞれの立場での実践を踏まえて議論を行いまとめたものである。

調査研究の中で、深谷市には地域学校協働活動に関わる人々や団体が数多く存在し、地域で多様な活動に取り組んでいることが分かった。

そのあり方は地域や学校に応じて異なるものの、学校応援団の活動や、公民館が中心となった学校との連携活動、子どもの居場所づくりに関する活動など、様々な活動が各地で展開されている。

こうした活動を継続していくことに加えて、地域学校協働活動推進員や学校運営協議会を効果的に活用することで、深谷市の地域学校協働活動はこれまで以上に充実するものと考えている。

むすびに、本提言により、学校と地域の連携・協働が深まり、地域総がかりで子どもたちを健やかに育てる取組が推進することを期待する。

資料1 用語解説

用 語	解 説
Society5.0	仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。
学校運営協議会	保護者や地域住民が学校運営に参画し、子どもたちの育成の方向性や方法を考え、地域の協力を得ながら教育に反映させる仕組みを有した組織。学校ごとに設置される組織で、学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクールと称する。
地域学校協働活動	地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。
地域学校協働活動推進員	地域住民等や学校関係者との連絡調整、地域学校活動の企画調整を担うコーディネーターの役割を果たす者。社会教育法に基づき教育委員会が委嘱する。
青少年健全育成会	地域が一体となった青少年の健全育成を目指し活動している地域の組織。深谷市では公民館ごとに自治会長や民生委員・児童委員、学校長等の参画で組織されている。
放課後子ども教室	子どもたちが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、地域住民等の参画を得て、放課後等に学習や体験・交流活動などを行う事業。
民生委員・児童委員	生活困窮者、老人、児童、障がい者等で援護を要する者の相談に応じ、援助を行うため、民生委員法に基づき厚生労働省が委嘱した者。児童福祉法に基づき、民生委員は児童委員を兼ねる。
学校応援団	学校における学習活動、安全・安心確保、環境整備などについてボランティアとして協力・支援を行う保護者・地域住民による活動組織。

## 資料2 深谷市社会教育委員名簿

任期 令和4年7月1日～令和6年6月30日

	氏名	選出団体・機関	備考
1	飯塚 富美男	明戸公民館	議長
2	鎌田 義夫	藤沢公民館	副議長
3	加藤 修	小学校校長代表（上柴西小学校） ～令和6年3月31日	学校グループ
4	荻野 浩和	中学校校長代表（豊里中学校） ～令和5年3月31日	学校グループ
	小林 義治	中学校校長代表（岡部中学校）	学校グループ
5	市川 真理子	P T A連合会代表（豊里中学校） ～令和5年6月30日	地域グループ
	小此木 舞子	P T A連合会代表（明戸小学校）	地域グループ
6	伊藤 七雄	子どもサポート市民会議代表	学校グループ
7	吉澤 正則	熊谷人権擁護委員深谷支部代表	地域グループ
8	佐藤 恵美子	生涯学習スポーツ振興課	学校グループ
9	岡 久美子	生涯学習スポーツ振興課	地域グループ
10	根岸 雅子	深谷公民館	地域グループ
11	齊藤 保明	幡羅公民館	地域グループ
12	田中 光子	大寄公民館	学校グループ
13	高野 誠一	八基公民館	地域グループ
14	木村 孝雄	豊里公民館	学校グループ
15	橋本 雄大	上柴公民館	学校グループ
16	首藤 紀人	南公民館	地域グループ
17	荒瀬 光男	岡部公民館	学校グループ
18	野澤 優	川本公民館	学校グループ
19	町田 きみ子	花園公民館	地域グループ

資料3 深谷市社会教育委員会議 活動記録

日付	内容	会場
令和4年 7月 8日(金)	第1回深谷市社会教育委員会議・委嘱式	深谷市役所
9月 6日(金)	第2回深谷市社会教育委員会議	深谷市役所
10月21日(金)	第3回深谷市社会教育委員会議	深谷公民館
11月10日(木) 11日(金)	第53回関東甲信越静社会教育研究大会 山梨大会	山梨県 甲府市内
11月29日(火)	令和4年度北部地区社会教育関係委員・職員研修会 講師：埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課 主席社会教育主事 安藤 寛仁 氏 演題：「地域と学校のつながり ～地域社会から 学校への働きかけについて～」	オンライン
12月20日(火)	第4回深谷市社会教育委員会議	深谷市役所
令和5年 2月16日(木)	令和4年度大里地区社会教育委員連絡協議会 研修会 内容：意見交換会	深谷公民館
3月 8日(水)	第5回深谷市社会教育委員会議	深谷市役所
5月11日(木)	第6回深谷市社会教育委員会議	深谷市役所
5月24日(水)	令和5年度大里地区社会教育委員連絡協議会定期総 会及び記念講演会 講師：埼玉県立自然の博物館 元館長 本間 岳史 氏 演題：「地層は語る—海から陸への大地のドラマ—」	寄居町中央 公民館
5月31日(水)	令和5年度埼玉縣市町村社会教育委員連絡協議会 総会及び研修会 講師：とねがわ幼稚園 園長 笹木 哲 氏 演題：「社会教育委員のいない社会教育なんて～社会 教育と学校教育をつなぐ社会教育委員～」	国立女性 教育会館

日 付	内 容	会 場
7月 7日(金)	第7回深谷市社会教育委員会議	深谷市立 教育研究所
9月19日(火)	第8回深谷市社会教育委員会議	深谷公民館
10月20日(金)	第9回深谷市社会教育委員会議	深谷市立 教育研究所
10月25日(木)	令和5年度北部地区社会教育関係委員・職員研修会 講師：国立教育政策研究所社会教育実践研究 センター 社会教育調査官 石津 峰 氏 演題：「これからの社会教育の在り方について —社会教育委員としての活動のヒント—」	オンライン
11月21日(火) 22日(水)	第54回関東甲信越静社会教育研究大会 栃木大会	栃木県 宇都宮市内
11月29日(金)	第10回深谷市社会教育委員会議	深谷市役所
12月20日(水)	第11回深谷市社会教育委員会議	深谷市立 教育研究所
令和6年 1月24日(水)	第12回深谷市社会教育委員会議	深谷市役所
2月28日(水)	第13回深谷市社会教育委員会議	深谷市役所
3月25日(月)	第14回深谷市社会教育委員会議	深谷市役所
5月27日(月)	第15回深谷市社会教育委員会議	深谷市役所
5月28日(火)	令和6年度大里地区社会教育委員連絡協議会定期総 会及び記念講演会 講師：ちふれASエルフェン埼玉 取締役 統括部長 鈴木 恵朗 氏 演題：女子プロサッカークラブ「ちふれASエルフ ェン埼玉」の歴史と熊谷市ホームタウン活動 について	妻沼中央 公民館

日 付	内 容	会 場
5月31日(金)	令和6年度埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会総 会及び研修会 講師：東松山市 総務部 情報統計課長 内田 幸雄 氏 演題：「令和元年東日本台風と東日本大震災 ～災害対応と災害派遣の経験から～」	国立女性 教育会館
6月27日(木)	第16回深谷市社会教育委員会議	深谷市役所